

平成23年12月

国立循環器病研究センター建替整備に関する経過

- 平成20年9月 現地での建替を検討してきたが、建築資材の高騰により、当時の国提示予算額では必要規模の整備が困難となり、断念。
- 平成21年10月 吹田市から「吹田市東部拠点」への移転要請。
- 平成22年4月 センター、独立行政法人化。
- 平成22年9月 アドバイザリーボード開催（第1回）
メンバー（役職は当時）
門田阪大副学長、松澤住友病院院長、塩田京大副学長、
津田大阪観光コンベンション協会会長（サントリー元副社長）、
村上先端医療振興財団専務理事
- 平成22年11月 センター内に新構想検討委員会（総長以下幹部が委員。センター各層が参画）を設置。将来構想の作成に着手。
- 平成23年2月 国、センターに研究所建替経費（約115億円）を出資。
- 平成23年5月 新吹田市長（選挙により交替）、あらためて移転を要請。
- 平成23年6月 ○アドバイザリーボード開催（第2回）
オブザーバーとして国の政策医療課長参加。
○新構想検討委員会、報告書を取りまとめ。
- 平成23年8月 ○総長上京し、厚生労働大臣、文部副大臣等に説明。
○厚労省の指示により、連名で北摂自治体・大阪市に対し誘致の意向照会。茨木市、箕面市、池田市から「有」との回答。
- 平成23年9月 ○医療イノベーションに焦点をあてた将来構想「最先端の、その先へ」を作成。
○大阪大学、京都大学とセンターとの連携強化のための三者会合を開催（センター：理事長、理事、病院長、大学側：学部長、病院長）。
- 平成23年12月 大阪商工会議所 総長講演会（センターの将来構想）